

サーマルプリンター BL-112II BT 取扱説明書

電波障害自主規制について



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに







このたびは、BL-112II BT サーマルプリンターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、必ず「安全上の注意」をよくお読みの上、プリンターを安全に正しくお取り扱いください。この取扱説明書は、大切に保管してください。

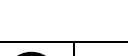
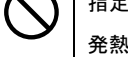

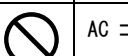

安全上の注意

本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。


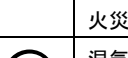

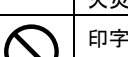

	警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-   記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。
-   記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左の表示例は「分解禁止」を表しています。
-   記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

	警告	指定以外の AC アダプターは使用しないでください。発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。
		AC コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。AC コードに傷がついて火災や感電の原因になります。
		プリンターおよび AC アダプターは絶対に分解や改造しないでください。発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。

注意

	プリンターの内部や隙間に金属片を落としたり、水やコーヒーなどの液体をこぼさないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	印字直後は、サーマルヘッド部が高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。用紙の交換やヘッドのクリーニングは、サーマルヘッドが冷えていることを確認してから行ってください。
	AC コードやインターフェースケーブルをコネクタやコンセントから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。AC コード部分を引っ張ると故障の原因となります。
	次のような場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 異常状態から回復できないとき ◆ 異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき ◆ 本装置の内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき 異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。

1. お取り扱い上の注意

次のことに注意して安全に正しくお使いください。

- ご使用に際して
 - ◆ 落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
 - ◆ ご使用にならないときは、電源を OFF にして電源コンセントから AC プラグを外してください。
 - ◆ 感熱ロール紙を紙挿入口より引っ張りますと、故障の原因となりますのでお止めください。
 - ◆ 感熱ロール紙を紙挿入口より逆に引っ張りますと、故障の原因となりますのでお止めください。
- 感熱ロール紙のお取り扱いについて
 - ◆ 乾燥した冷暗所に保存してください。
 - ◆ 固いもので強くこすらないでください。
 - ◆ 有機溶剤の近くに置かないでください。
 - ◆ 塩化ビニールフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないでください。
 - ◆ 複写直後のジアソおよび湿式コピーとは重ねないでください。
 - ◆ 感熱ロール紙は必ず指定紙をお使いください。
- 設置について
 - ◆ 水平で安定した場所に設置してください。
 - ◆ 次のような場所には設置しないでください。傾いた場所や、強い振動のある場所、直射日光が当たる場所やホコリが多い場所、湿度が極端に高い場所や低い場所、腐食性のガスが発生する場所

2. 準備

2.1 開梱

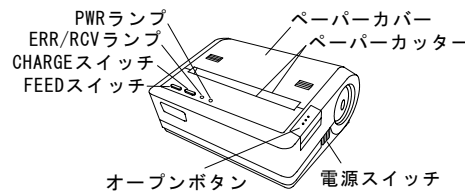
梱包を解きましたら、本体と付属品が全て揃っていることを確認してください。

- ・ 本体 1台
- ・ 感熱ロール紙（長さ6mのもの） 1巻
- ・ 取扱説明書 1枚
- ・ ACアダプター 1個
- ・ ACコード 1本

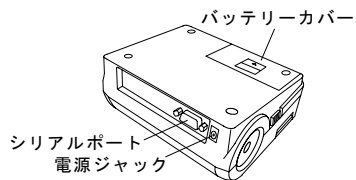
★感熱ロール紙は弊社又は代理店にて取り扱っておりますので、お申し付けください。

2.2 各部の名称

正面図



背面図



2.3 操作パネル

- 電源スイッチ
電源を ON/OFF するためのスライドスイッチです。
- FEED スイッチ
押ししている間は用紙が送り出されます。
- CHARGE スイッチ
ACアダプター接続時に約3秒間押しすると、バッテリーパックに充電を開始します。
- PWR ランプ（緑色）
電源 ON 時に点灯します。バッテリーパック容量が少なくなるか、Bluetoothのセッティング中に点滅します。
- ERR/RCV ランプ（赤色）
エラー時にはエラー内容によって点灯、点滅のパターンが変わります。

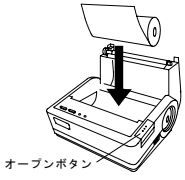
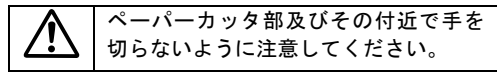
3. 操作のしかた

3.1 ACアダプターの接続

- 電源スイッチを OFF にします。
 - ACアダプターの DC プラグを本体の電源ジャックに差し込みます。
 - ACアダプターの AC プラグをコンセントに差し込みます。
- 【注意】
DC プラグの先端部には触らないでください。ACアダプターをはずすときはプリンターの電源スイッチを OFF にし、AC プラグをコンセントから抜いてから、DC プラグを抜いてください。

3.2 用紙のセット

- オープンボタンを押してペーパーカバーを開けます。
- 用紙を図の向きにセットします。（紙の表裏が反対ですと印字しません。）
- 用紙の先端がプリンターの外に出るようにして、ペーパーカバー上面の両端を押し込んでカバーを閉じます。

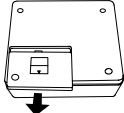


3.3 バッテリーパック

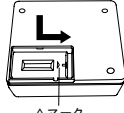
お買い上げ直後や長時間ご使用にならなかったときは、バッテリーパックが消耗していますので、ご使用前に充電してください。

● バッテリーパックの取り付け方

- プリンターの電源を切ります。
- バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取り外します。



- バッテリーパックを△マークが右に来るようにして、バッテリーケースの左側に置き、右側へカックと音がするまでスライドさせてセットします。



● バッテリーパックの外し方

- プリンターの電源を切ります。
 - バッテリーカバーを外し、バッテリーパックを左側へスライドさせます。バッテリーパックが下に落ちないように、手で抑えながらプリンターを裏返し、バッテリーパックを手のひらの上に落として取り出します。
- ・ 不要になったバッテリーパックは、廃棄せず最寄りのリサイクル協力店にお持ちください。

● 充電のしかた

- 電源スイッチを OFF にします。
- バッテリーパックを取り付けます。
- ACアダプターを接続します。
- 電源スイッチを ON にします。
- CHARGE スイッチを約3秒間押しします。
充電を開始すると、PWR ランプと ERR/RCV ランプが交互に点滅します。
- 充電が完了すると印字待機状態になります。（PWR ランプが点灯、ERR/RCV ランプが消灯。）電源スイッチをオフにし、ACアダプターを外します。（充電時間は約2時間です。）フル充電時は感熱紙 100m 以上を印字することができます。（連続印字 印字率 25%、UR-250 使用時）フル充電であっても電源を入れたまま約 10 時間放置すると、ローバッテリー状態になります。

3.4 お手入れのしかた

プリンターの表面が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きするか、中性洗剤を含ませた布で拭いてから乾拭きしてください。

【注意】

- ・ シナー、ペンツンなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
- ・ プリンターの内部は絶対に水などで濡らさないでください。

3.5 エラー表示

エラー状態になると PWR ランプ、ERR/RCV ランプの点灯または点滅により、エラー内容を示します。エラー内容は下表のようになります。

□が 0.1 秒間点灯。■が 0.1 秒間消灯を示します。

電源スイッチ	状態	ランプ表示
オン	通常時 (印字可能)	PWR □□□□□□□□□□□□ ERR/RCV ■■■■■■■■■■■■ (IrDA 受信時は点滅)
	電圧異常、ローバッテリー	PWR □■□■□■□■□■□■ ERR/RCV ■又は□(紙無し等)
	温度エラー	PWR □□□□□□□□□□□□ ERR/RCV □■□■□■□■□■□■
	紙無し、カバーオープン	PWR □□□□□□□□□□□□ ERR/RCV □□□□□□□□□□□□
	充電中 (充電完了で通常時に復帰)	PWR □□□□□□□□□■□■ ERR/RCV ■■□□□□□□□□□□
オフ	テスト印字	PWR □□□□□□□□□□□□ ERR/RCV ■■■■■■■■■■■■
	HEX タンク印字	PWR □□□□□□□□□□□□ ERR/RCV ■■■■■■■■■■■■
	機能設定モード	PWR □□□□□□□□□□□□ ERR/RCV ■■■■■■■■■■■■
電源オフ	PWR ■■■■■■■■■■■■ ERR/RCV ■■■■■■■■■■■■	

3.6 テスト印字

テスト印字では、プリンターが持っている文字を普通・倍幅拡大の順に印字します。FEED スイッチを押しながら電源スイッチを ON にしますと、テスト印字を開始します。

3.7 HEX ダンプ印字

コンピューターから入力したデータを 16 進数と文字で印字します。CHARGE スイッチを押しながら電源スイッチを ON にしますと、HEX タンクモードに入ります。

3.8 機能設定

プリンターの機能を、操作スイッチにより設定します。FEED スイッチと CHARGE スイッチを押しながら電源スイッチを ON にしますと、機能設定モードに入ります。メッセージが印字されたら、YES のときは FEED スイッチ、NO のときは CHARGE スイッチを押して選択します。

項目の詳細については、技術マニュアルを参照ください。

3.9 コンピューターとの接続

・ インターフェースケーブルは、コンピューターに合わせて 2m 以内のシールドケーブルをご使用ください。

4. 仕様

4.1 一般仕様

コマンド体系	ESC/POS 準拠
印字方式	感熱ラインドット方式
データ入力	Bluetooth Ver. 2.0 準拠
	シリアル (RS-232C 準拠)
	コネクタ: 9pin D-SUB 母 (インテリ)
最高印字速度	90mm/s max.
印字幅/紙幅	104mm/112mm
バーコード	UPC-A/E, JAN8/13, CODE39, ITF, CODABAR, CODE128 (EAN128)

2 次元コード (オプション)
QRCode (Model2), DataMatrix, PDF417, MicroPDF417, MaxiCode

電源	専用外部電源 ACアダプター 型番: BLS-120W 入力: AC100V~240V、50/60Hz 出力: DC9.0V 3.0A ACアダプター用 ACコード (御指定のもの 1 本を同梱) 型番: ACS-120A (国内向け) ACS-100G (欧州向け)
	バッテリーパック リチウムイオン充電池 (オプション) 型番: UR-250、UR-121
外形寸法 (W×D×H、突起部を除く)	154mm×129mm×66.3mm
質量	約 480g (感熱ロール紙、バッテリーパックを除く)
動作環境	温度 0°C~+40°C (ACアダプター) -10°C~+50°C (バッテリーパック) 湿度 30%RH~80%RH (結露しないこと)
保存環境	温度 -25°C~+60°C 湿度 20%RH~90%RH (結露しないこと)
感熱ロール紙	型番: P-112-30 (10 巻/箱) 紙幅: 112mm 長さ: 約 30m 外径: 50mm

EMI 規格	VCCI CLASS B、CE
受信パワー	1K バイ

- ◎仕様詳細は、技術マニュアルを参照してください。
- ◎Windows ドライバー、技術マニュアル (コマンド仕様書) は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。
- ◎Bluetooth 通信は、通信相手によっては充分に通信できない場合がありますので、事前に充分な動作検証を行なってください。
- ◎Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ◎この取扱説明書の内容は、製品の改良に伴い、予告なしに変更することがあります。

三栄電機株式会社

三栄電機株式会社 本社	東京都豊島区池袋 2-61-1 〒171-0014 TEL. 03-3986-0646(代) FAX. 03-3988-5876
西日本営業所	大阪市淀川区西中島 3-5-2 新居第 10 ビル 〒532-0011 TEL. 06-6309-9530(代) FAX. 06-6309-9532
名古屋営業所	名古屋市名東区上社 1-802 上社ターミナルビル 2F 〒465-0025 TEL. 052-760-6500(代) FAX. 052-760-6510
ホームページ	http://www.sanei-elec.co.jp (1. 2015)